

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年8月25日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22320112

研究課題名（和文） 英語教師の成長に関する枠組みの総合的研究

研究課題名（英文） A Comprehensive Study on the Framework of English Language Teachers' Professional Development in Japan

研究代表者

神保 尚武（JIMBO HISATAKE）

早稲田大学・商学大学院・教授

研究者番号：60063781

研究成果の概要（和文）：2010年度は(1)ヨーロッパ言語共通参照枠についての意識調査、(2)言語教育履修生のための日本ポートフォリオ(J-POSTL)の教育現場への文脈化の試みと(3)現職教員調査を実施した。2011年度は、(1)J-POSTL第1期径年調査、(2)初任者研修における調査と(3)現職英語教員のためのポートフォリオ(J-POTL)作成に向けて調査を行った。2012年度は、(1)現職英語教員の授業力に関する意識調査と(2)J-POSTL第2期径年調査を行った。

研究成果の概要（英文）：In 2010, first we conducted a survey among English educators on how much knowledge they have on CEFR's framework. Second, we have provided a detailed breakdown of each descriptor in the checklist of J-POSTL. Finally, we also conducted a survey among English educators on how to create a benchmark for reflection. In 2011, we conducted the first annual J-POSTL survey. We also conducted a preliminary survey on 'Can-do' descriptors of didactic competences. In 2012, we conducted a nation-wide survey on 'Can-do' descriptors of didactic competences. Another project was the second annual J-POSTL survey.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	5,100,000	1,530,000	6,630,000
2011年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
2012年度	3,000,000	900,000	3,900,000
年度			
年度			
総計	12,600,000	3,780,000	16,380,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：外国語教師養成

1. 研究開始当初の背景

本研究会は、2009年度に英語教師の成長につながる言語教育履修生のための日本ポートフォリオ(J-POSTL)を開発した。

2. 研究の目的

J-POSTLの教育現場への文脈化と普及、さらに、現職英語教員のためのポートフォリオ(J-POTL)の開発をすること。

3. 研究の方法

全国の英語教職課程履修者、現職英語教員、大学の英語科教育法担当者、教育委員会等のアンケート調査や諸外国や国内の先進事例を調査・研究した。

4. 研究成果

2010年度、2011年度、2012年度3月に、それぞれ報告書を公表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 16 件)

1. 酒井志延「生徒に英語を使わせる」『英語教育』2012年4月号(第61巻1号) pp. 54-56. 大修館書店
2. 久村研「復習の時間で英語を使う」『英語教育』2012年5月号(第61巻2号) pp. 60-62. 大修館書店
3. 清田洋一「表現活動で英語を使う」『英語教育』2012年6月号(第61巻3号) pp.48-50. 大修館書店
4. 高梨庸雄「新教材の導入で英語を使う」『英語教育』2012年7月号(第61巻4号) pp.66-68. 大修館書店
5. 高木亜希子「練習活動とまとめで英語を使う」『英語教育』2012年9月号(第61巻6号) pp.48-50. 大修館書店
6. 酒井志延「CAN-DO リストを使って英語使用を増やす」『英語教育』2012年10月号(第61巻7号) pp.54-56. 大修館書店
7. 高梨庸雄「CAN-DO リストの出発点」『英語教育』2012年12月号(第61巻10号) pp.54-56. 大修館書店
8. 清田洋一「教科書に基づく1年間の指導の達成目標とCAN-DO リスト」『英語教育』2013年1月号(第61巻11号) pp. 48-50. 大修館書店
9. 久村研「CAN-DO リストの形での学習到達目標を各学校でどう作るか」『英語教育』2013年2月号(第61巻12号) pp. 45-47. 大修館書店
10. 高木亜希子「CAN-DO リストを含むポートフォリオを教師の振り返りと成長に役立てる」『英語教育』2013年3月号(第61巻13号) pp.48-50. 大修館書店
11. 神保尚武「英語教育学が目指すところ」－「英語教育学大系」刊行の意義『英語教育』2011年9月号(第60巻6号) pp.34-36. 大修館書店
12. 久村研「教員の成長」『英語教育』2010年10月増刊号(第59巻8号) pp.12-13. 大修館書店
13. 酒井志延「大学レメディアル教育」『英語教育』2010年10月増刊号(第59巻8号) pp.30-31. 大修館書店
14. 酒井志延「レメディアルと向き合う」『英語教育』2010年10月増刊号(第59巻8号) pp.30-31. 大修館書店

15. 清田洋一「否定的な学習意識を共同学習で考える：自尊感情の向上を目指して」『英語教育』2010年10月増刊号(第59巻8号) pp.31-33. 大修館書店
16. 久村研「英語教師としての成長を見据えて―「絶対授業感覚」を育むために」『英語教育』2011年3月号(第59巻13号) pp.10-12. 大修館書店

[学会発表] (計 20 件)

1. 高木亜希子、遠藤雪枝、藤井彰子「言語教育課程において学ぶ学生または初任者プログラムにいる教師が英語教師として成長するための気づきの手がかりとなるポートフォリオ (J-POSTL) の使用について」語学教育エキスポ、早稲田大学、2013年3月17日
2. 神保尚武、清田洋一、臼井芳子、醍醐路子、天野正明「生徒が英語力を向上させるときの気づきに資する Can-do リストの開発、利用について」語学教育エキスポ、早稲田大学、2013年3月17日
3. 酒井志延、平木裕、青山彰、跡部智、深澤清治「中堅の教員が教員としてのさらなる成長を目指す場合、その成長に資するポートフォリオ (J-POTL) の使用はどうあるべきか―2012年に実施した全国調査の結果をもとに」語学教育エキスポ、早稲田大学、2013年3月17日
4. 久村研、中山夏恵、大崎さつき、栗原文子「異文化コミュニケーション能力をどのように養成するか」語学教育エキスポ、早稲田大学、2013年3月17日
5. 中山夏恵、遠藤雪枝「英語教職課程における「振り返りのためのチェックリスト」の活用」大学英語教育学会関東支部大会、横浜国立大学、2012年6月10日
6. 清田洋一、久村研、酒井志延「現職英語教員の授業力ポートフォリオの開発―中堅教員のための授業力自己評価ツール」、全国英語教育学会、愛知学院大学、2012年8月5日
7. 酒井志延「英語教師の成長に資する参照枠を求めて」関東甲信越英語教育学会、共愛学園前橋国際大学、2012年8月18日
8. 高木亜希子、臼井芳子「A Survey of the Use and Effects of the J-POSTL」大学英語教育学会国際大会、愛知県立大学、2012年8月31日
9. 久村研、酒井志延「CEFR の理念とその普及に関する考察」大学英語教育学会関東支部大会、大東文化大学、2011年6月26日
10. 神保尚武、久村研、石田雅近、伊東弥香「Adapting European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL) to the Japanese Educational Context」国際応用言語学会(AILA 2011, Beijing)、北京外国語大学、2011年8月25日
11. 酒井志延、清田洋一、高木亜希子、中山夏恵「How to Nurture Autonomy in English Language Learning in an EFL Environment」国際応用言語学会(AILA 2011, Beijing)、北京外国語大学、2011年8月27日
12. 清田洋一「英語レメディアル教育と生涯学習―学習者中心の英語学習への転換」日本レメディアル教育学会全国大会、福岡大学、2011年9月3日
13. 酒井志延「日本の英語学習者の認知方略使用構造について」日本レメディアル教育学会全国大会、福岡大学、2011年9月3日
14. 久村研「J-POSTL の開発と普及」日本レ

- メディア教育学会全国大会、福岡大学、2011年9月3日
15. 浅岡千利世、伊東弥香、臼井芳子、清田洋一「英語教職課程履修生のためのポートフォリオの可能性を探る」大学英語教育学会関東支部大会、東洋学園大学、2010年6月27日
 16. 伊東弥香、今村洋美、大崎さつき「Developing a Self-assessment Tool for EFL Teachers in Japan」日米教師教育コンソーシアム、玉川大学、2010年7月24日
 17. 神保尚武、久村研「Seeking the Possibility to Adapt European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL) to the Japanese Educational Setting」アジア英語教育学会国際大会 (Asia TEFL 2010)、ハノイ、2010年8月7日
 18. 酒井志延、清田洋一、高木亜希子「Improving Students' Learner Autonomy in Japanese Educational Context」アジア英語教育学会国際大会 (Asia TEFL 2010)、ハノイ、2010年8月7日
 19. 久村研「Adapting the EPOSTL Self-assessment Descriptors to the Japanese Educational Context」大学英語教育学会夏季セミナー、草津セミナーハウス、2010年8月23日
 20. 酒井志延、清田洋一、高木亜希子、今村洋美、大崎さつき「英語教師の成長につながる日本版 EPOSTL の開発」大学英語教育学会国際大会、宮城教育大学、2010年9月8日
- [図書] (計6件)
1. 神保尚武、他19名(2013)『英語教師の成長に

- 長に関わる枠組みの総合的研究』(平成24年度版) 136 桐文社
2. Jimbo, H. et al. (2012) A Comprehensive Study on the Framework of English Language Teachers' Professional Development in Japan. 166 Tobunsha.
 3. 神保尚武、他12名(2012)『新しい時代の英語科教育の基礎と実践—成長する英語教師を目指して』333 三修社
 4. 神保尚武、他18名(2012)『英語教師の成長に関わる枠組みの総合的研究』(平成23年度版) 98 桐文社
 5. Jimbo, H. et al. (2011) A Comprehensive Study on the Framework of English Language Teachers' Professional Development in Japan. 113 Tobunsha.
 6. 神保尚武、他18名(2011)『英語教師の成長に関わる枠組みの総合的研究』(平成22年度版) 210 桐文社

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

ホームページ等

<http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

神保尚武 (早稲田大学商学学術院教授)

研究者番号: 60063781

(2) 研究分担者

久村 研 (田園調布学園大学こども未来学部教授)

研究者番号: 30300007

酒井志延 (千葉商科大学商経学部教授)

研究者番号：30289780

(3)連携研究者

石田雅近（清泉女子大学文学部教授）

研究者番号：70146942

ヨッフエ・レオニード（早稲田大学商学
学院准教授）

研究者番号：80434265

高木亜希子（青山学院大学教育人間科学
部准教授）

研究者番号：50343629

清田洋一（明星大学教育学部准教授）

研究者番号：6013843

中山夏恵（共愛学園前橋国際大学国際社
会学部准教授）

研究者番号：50406087

臼井芳子（独協大学国際教養学部准教授
）

研究者番号：40296794

伊東弥香（東海大学外国語教育センター
准教授）

研究者番号：20434201